

平成 27 年 12 月 6 日

研究集会等の実施にあたっての注意事項

数学協働プログラムにおいて採択されたワークショップやスタディグループなどの研究集会等の実施にあたっては、特に以下の点に留意してください。

- 数学・数理科学の側だけでなく、ポスター・チラシなどを通して、協働相手となる諸科学・産業界に向けた広報に努めてください（申請時に広報の予算を十分に計上していない場合は、見積書とともに数学協働プログラム事務局に相談してください）。
- 研究集会等の広報およびその成果においては、「文部科学省委託事業 数学協働プログラム（受託機関：統計数理研究所）」に基づくものであることを明記してください。なお、数学協働プログラムおよび統計数理研究所の英語名は、それぞれ **The Cooperation with Mathematics Program**（略称：**The Coop with Math Program**）、**The Institute of Statistical Mathematics** です。
- 研究集会等の開催案内（<http://coop-math.ism.ac.jp/event/schedule>）に最新の情報を適切に反映するように努めてください（これは本事業の公式記録の一部となります）。なお、研究集会等の内容を申請時より大幅に修正する場合は、実施前に数学協働プログラム事務局の許可が必要です。
- プログラムの前に、開催の【趣旨・目的】を、数学を専門としない方にも分かるような文面で書き加えて下さい。本事業は、数学協働を目的とするため、数学を専門としない方がご覧になられます。プログラムだけでは、数学を専門としない方には、対応するワークショップやスタディグループがどのようなものなのかが分かりにくいからです。また、プログラムの最後には、参加したい方が問い合わせるための【連絡先】を、加えて頂ければと思います（名前・所属・メールアドレスなど）。
- 経費の執行にあたっては、<http://coop-math.ism.ac.jp/download> で配布する配分経費申請方法および様式に従ってください。

- 研究集会当日は別途お渡しする受付名簿をお使いください(同等の情報があれば別の様式でも構いません)。
- 研究集会等の実施後 1 か月以内に実施報告書を提出していただく他、その後の追跡調査や広報にもご協力いただきます。
- 情報共有のために、講演スライドなどのファイルを、可能な限り、オンライン提出する実施報告につけて下さい。具体的な方法は、協働研究情報システム操作手引書 (<http://coop-math.ism.ac.jp/coop-manual130523.pdf>) PartII 第 3 節を参照ください。

数学協働プログラム事務局
coop-math-sec@ism.ac.jp